

居場所づくり

非暴力ルーム・大阪 イダヒロキさんインタビュー

加害者を変えることでDV被害をなくす 非暴力な社会をつくる

—NOVOをはじめた背景は？

イダ：身近なところから「暴力に敏感な人、非暴力の人を増やしていきたい」という想いがあります。

いま、ネットには「冤罪DV」などを掲げて、「DV対応で俺の家族を壊された」と怒りをもっている男性加害者が多くいます。実際に宇都宮市連続爆発事件（10月23日）では、DV加害者が公園で爆弾をまいて、通行人を巻き添えにして自爆した、という惨事がありました。「俺は加害者ではないのに、DVのレッテルを張られ、妻と子どもを失い、財産を失った。冤罪なのに、誰も話を聞いてくれない」という心境だったのでしよう。

参加者同士で対等な関係性を築く

—加害者プログラムそのものの詳細は？

イダ：加害者男性に計52回、プログラムに参加してもらいます。毎週土曜日に2時間受講して3000円を払う必要があります。これは、「二度と暴力を振るわない」ことを、言葉だけではなく、実際に「養育費を払い続けるのか、NOVOに参加し続けるのか」という持続的な行動を示すことが問われる、ということを意味します。



また、NOVOでは、被害者女性側から「DVがあったなどの状況」の連絡を受ける体制をとっています。例えば、「天から変な手紙が送られてきた」などあれば、「なぜ文書を送るのはダメなのか」を第三者的な位置から説明します。

女性・労働問題をはじめ、相談活動やユニオン活動に取り組むイダヒロキさん。90年代初頭から女性の非正規労働者の問題に取り組んできた。イダさんが関わっている非暴力ルーム大阪（NOVO-NO VIOLENCE ROOM OSAKA）では、日本では数少ないDV加害者プログラムを通して、DV加害者を変える取り組みを実践している。編集部では、①NOVOの取り組みを始めた背景、②プログラムの内容、③今後について伺った。

（編集部・ラポルテ）

最初の3回は面談のみです。加害者男性の方の気持ちも聴かないといけません。加



「暴力はダメだ」なんて一般的なことは、みんな知っている話ですよ。本1冊読むと、「DVを理解した」つもりになります。しかし、具体的な事例になると、そうでもない。題材では、妻が「営業で訪れた業者から、換気扇カバーを3万円で購入された」といったものがあり、夫が妻に「バカ！」どこの業者や！

「グループワークではどのようなことを？」

イダ：毎週異なる題材・教材をもとにDV加害の回避方法や被害者女性の気持ちを学びます。「自分はこんなことをしてしまった」「俺もそうやった」と参加者同士で進めることを軸にしています。生徒対先生ではない、対等な関係性を築くことができず。イメージとしては、アルコール依存症などを抱える自助グループに近いかもしれません。依存症自助グループは主に当事者だけでつくりますが、NOVOでは「DVとはなにか」「DVにならない考え方を学ぶ必要がある」という「暴力はダメだ」なんて一般的なことは、みんな知っている話ですよ。本1冊読むと、「DVを理解した」つもりになります。しかし、具体的な事例になると、そうでもない。題材では、妻が「営業で訪れた業者から、換気扇カバーを3万円で購入された」といったものがあり、夫が妻に「バカ！」どこの業者や！

「具体的なには、どのような対応を？」

イダ：NOVOにつながった被害者女性たちは、夫に「私たちが失いたくないなら、NOVOに行つて」と伝えることもありますね。加害者男性がNOVOで変わるか、変わらなにかはわかりません。しかし、「妻や子どもを失いたくない」という気持ちがあり、「人のせいにはせず、自分を変えよう」と思ったら変わるかもしれません。

NOVO 「非暴力ルーム・大阪」

申し込み・問い合わせ・連絡先

電話：090-5965-0973

メール：novo_osaka@yahoo.co.jp

HP：http://www.novohibouryoku.jp/

まずは、メールか電話でご連絡ください。ご説明のうえ、参加を希望される方には第1回目の面談を設定します。面談も、基本は土曜日ですが、相談のうえで決めます。

DV加害者の方だけでなく、DV被害者で、パートナーに暴力を振るわないように変わってほしいとかプログラムに参加してほしいと思う方も、お問い合わせください。

「暴力はダメだ」なんて一般的なことは、みんな知っている話ですよ。本1冊読むと、「DVを理解した」つもりになります。しかし、具体的な事例になると、そうでもない。題材では、妻が「営業で訪れた業者から、換気扇カバーを3万円で購入された」といったものがあり、夫が妻に「バカ！」どこの業者や！

「加害者男性からは「突然、妻が子どもをつれて出て行つた。どうしたらいいか」という相談も寄せられます。対応としては、「妻を探そうとせず、DVを学ぶことが大事。そのうち妻から離婚調停などの要望がくるだろうから、その時にお金のことを含めて誠実に対応すること」と伝えていきます。

私は家族関係の修復を目指しているのではなく、個人として自他を尊重しあうことを目指すシングル単位論者で

りがちです。DV被害者は、加害者と別れることを求めることだけではなく、「夫のDV加害を変えてほしい」という求めもあります。なので私は、DVから逃げずにしても、別居という選択肢を勧めます。これには、結婚という形が残るために生活費（婚費）を得られるうえに、暴力から離れて安全になるとか、加害者が反省しやすくなるというメリットがあります。

加害者男性が変われば、被害女性や子どもにとって、逃げることが以外を選択肢をとることができません。

また、NOVOに女性の会があります。被害女性が訪れた場合は、面談し、ニーズを聞いた上で、加害者男性が被害女性に意思を尊重するように学んでもらいます。被害者女性自身がDVを学んで自立する力をもたないといけませんし、暴力を受けてきた分、鬱病やPTSDなどの精神の病を抱えていることも多いからです。なので、被害女性同士で話し合う機会も設けています。

加害者男性からは「突然、妻が子どもをつれて出て行つた。どうしたらいいか」という相談も寄せられます。対応としては、「妻を探そうとせず、DVを学ぶことが大事。そのうち妻から離婚調停などの要望がくるだろうから、その時にお金のことを含めて誠実に対応すること」と伝えていきます。

私は家族関係の修復を目指しているのではなく、個人として自他を尊重しあうことを目指すシングル単位論者で

をなくすという視点が抜け落ち、加害者に甘いプログラムになる恐れがあり、注視しなければいけません。現状からいけば、最低数年はかかるだろうと思えます。

DV加害者プログラムは非暴力な社会をつくるためのひとつの希望です。冒頭に挙げた「冤罪DV」などを掲げた人たちは、放っておくと政治的にはトランプ的にもなり得ます。いじめ・ストーカー！セクハラをはじめ、問題をつくりだしている加害者を変えること。この修復的正義の実践を、今後もNOVOに来てくれる参加者から、丁寧にしていきたいと思えます。

【連載】社会活動家のためのインターネットセキュリティ講座⑤

ドライブ・デバイス ファイルの暗号化

津まさのり
石田やわら

情報を守る強力な手段のひとつは、暗号化である。PC (Windows / Mac / GNU Linux) でも、スマートフォン (Android / iPhone) でも、ディスクあるいはデバイス全体の暗号化がサポートされている。ここのようにディスクとはコンピュータの長期記憶に相当するもので、物理的なモノとしてはハードディスクやUSBメモリ、SSDなどが該当する。

短かったり辞書にある単語などの「弱い」パスワードは、総当たりで試して破られてしまう可能性がある。ゆえに適切なパスワードを設定しておく必要がある。また、自分がパスワードを忘れてしまった場合には当然、データは失われる。こうしたことに気をつけさえすれば、暗号化は非常に有用である。

自由ソフトウェアで暗号化

暗号化に際して自由ソフトウェアを使う利点は、ソースコードが公開されていることによりソフトウェアの安全性がオープンに検証されうることで、使用に際して特

自由ソフトウェア以外の方法

ドライブ暗号化についてはWindowsではBitLocker (一部のエディションのみ)が、MacではFileVaultがデフォルトでインストールされており、比較的簡単に行える。暗号化機能付きのUSBハードディスクやUSBメモリも広く市販されており、手軽に暗号化が利用できる。ただしこの場合、ソフトウェアあるいはハードウェアの実装や、将来にわたる利用可能性について販売企業を信頼することが前提となる。ソースコードが公開されていない個人作成のソ

ファイル安全に削除する

ソフトウェアを使う場合も、同様に削除されているか、にも注

パスワード について

さて、暗号化で大事なことは、強いパスワードを設定すること、そのパスワードを覚えておくことだ。複雑なパスワードを設定しても、忘れてしまつては意味がない。どのようなパスワードが安全でかつ利便性が高いものか考えてみよう。例えば「password」の安全性は低い。passwordは、辞書にのっている単語であるし、すべて小文字でかつ数字や特殊記号も使われていない。少し工夫をしてみよう。「a」をアットマークで「@」を数字のゼロで置き換えてみると「p@ssw0rd」。これは以前よりは強いパスワードだといえるが、さらに続けてみよう。ふたつの「s」を大文字に、先頭と末尾に適当な特殊記号(「!」)では「!p@SSw0rd!」。そして末尾の「e」を大文字にする。「!p@SSw0rd!」。ここまでくれば十分実用に耐えうるパスワードと言える。このように、パスワードとしては弱い単語からスタートして、自分のオリジナルパスワードを作ることができる。

安倍総理の祖父は、ご存知のように関東軍傀儡の満州政府の革新官僚だった岸信介氏である。岸は、東条内閣の商工省大臣として、戦犯に問われ巣鴨に収監されたが、釈放され、自民党総裁・総理大臣として1960年の日米安保条約改定を国民総反対の中強行採決し、その後辞任した。父親は外務大臣を務めた安倍晋太郎氏で、自らの派閥を率いて総理大臣を射程にのらせた距離まで近づいていたが、病にたおれてその志は果たせなかった。

安倍総理は、第二次政権の時は「戦後レジームからの脱却」とのスローガンでまず国民教育の土台である基本法を変え、学校教育法も変え、日本の国の土台の右翼的再編の基本戦略を整えたが、年金問題で失敗し辞任に追い込まれた。

2012年、民主党野田政権が議員定数削減に合意し12月に衆議院解散総選挙を行ったが、民主党は57議席の歴史的敗北、自民党は294議席の大勝だった。その大勝の要因は、新自由主義一直線の自らの名前を冠した「アベノミクス」だった。しかし、この経済政策は金融バブルの成れの果てともいえるべきで、国債と紙幣を増刷して無理矢理市場に流し込み、実態のない水ぶくれ株高を演出して、円安を誘導しただけであった。黒田日銀総裁は、政府自民党の走狗として走り回っただけで、社会的弱者を守り国民の生活の安定と安心を第一に考える施策は何一

つしなかった。安倍総理は、この年の衆議院選挙に勝利し、一瀉千里に安法制の集団的自衛権の行使に邁進する。これも無理を押ししての解釈改憲で通ってしまったが、2006年からの安倍政権の流れ(2016年12月の年金改憲法とカジノ解禁のIR法も含めて)から、この政権の戦略的意図としてきちんと理解しなければならぬ。それは、日本国家構造の右翼的再編であり、日本の国家意思を十全

してクレーターを計画し決起したが失敗し、17名の青年将校と北一輝ら民間人が銃殺に処された。私は、彼らの行動が日本の軍事国家態勢を一層速めたとの歴史観には賛成したくないが、現在の安倍政権には、そのような2・26の青年将校のような拙速な状況判断と独断を感じて

多分に安倍政権の中核には、戦後憲法を脱構築して日本をつくりかえようとする人たちが集結しているのだから、少なくとも2・26の青年将校たちには、疲弊して、役場が人身売買を斡旋するしかない東北農民たちの悲鳴が、その地を故郷とする兵士たちの口から聞かされていよう。処刑された青年将校たちの思いの原点には、窮乏する農民を救わねばならないとの思いがあったのです。

現在の安倍政権の日本構造改革に、その視点と熱いまなざしは感じられない。そして、安倍国家再編に抗する私たちの視座は、『生活』です。3・11東日本大震災と原発事故で失われた一番大切なものは、『命』でしたが、生き残った私たちが再認識した、私たちが守ってくれたものは、地域共同体です。東電は、この壊れた共同体の価値には一銭の賠償もしていません。私たちが数百年にわたってつくってきたこの地域共同体こそが、私たちの生活を守り、人生を豊かにする源泉だったので。つまり、こういうことが言えるでしょう。私たちは虫の視点で生活を再点検し再構築する。上から目線の再構築は成功しない、私たちはこの福島

福島 の最深处に向かう

代表
シネマプロス
宗形 修一



たる軍事力として行使できる自衛隊の世界への登場であり、世界経済の大国としてあり続けたいとする願望であろう。

つまり、その右翼的再編とは、戦後憲法を脱構築することであり、その平和は米ソ核大国の軍事バランスで辛うじて守られた平和共存の60年代の平和論でしかない。北朝鮮の核問題が軍事力の行使で片付く問題でないことは、自明の理である。

1936年、日本陸軍の青年将校たちが、東北の飢饉による国民の窮乏に対する政府の無策に痺れを切らし、天皇親政国家をつくらうと

この福島

この福島

この福島

この福島

大阪労働学校

働きながら学ぶ 社会変革のリーダー養成をめざして

賀川豊彦の志を引き継ぎ 地域に開かれた学校を

大阪労働学校学長 本山美彦

大阪市港区川口に開校した大阪労働学校は、4月1日に開学、当初学生は3名だったが、後期から定員の10名に達し、聴講生やネット授業も視野に入れる。11月からは、労組論の授業も始め、仕事帰りの労働者の参加も見え始めた。大阪労働学校学長・本山美彦さんに、開学の目標など聞いた。(文責・編集部)



▲本山美彦学長

「開学の目的は？ 本山：支配体制の側は、危機感を持ってアベノミクスをはじめとする戦略戦術を練り、着々と仕掛けてきています。一方、これに対抗する左翼陣営は、その場しのぎで言葉だけの応酬・批判に終始しているように見えます。敵の戦略を深いところで分析・理解し、誰にでもわかりやすく現状を説明し、対抗陣営を豊かにしなければ、日本の変革はありません。」

「分岐点を探し出し、変革の方向性を示すべきだと考えてきました。そうした思いで学校運営に参加しています。それは、スターリズムに陥らないような変革のプロセスを具体的に描き、地域に潜む変革の可能性や未来の萌芽を掘り下げていくことから、変革の思想は生み出されるのだと信じているからです。」

「大阪労働学校がある大阪市川口近辺は、150年前、神戸よりも広い外国人居留地でした。近代産業発祥の地でもあります。日本で最初の造幣局も大阪で作られ、最初のイギリス植民地銀行であるオリエンタル銀行も川口に建てられていました。こうした地元の歴史が忘れ去られているのはとても残念なことです。」

「さらに、戦前の社会運動家として有名な賀川豊彦が、川口の近くの安治川教会に作っていたのが大阪労働学校です。港区で操業していた造船所で大きな争議が起こり、それをみた賀川豊彦が、「指導的な労働者を生み出そう」として作ったのが大阪労働学校です。労働学校の学生となった労働者のために働き口として印刷所を経営するなど、働きながら勉強する労働運動の指導者を輩出しようとした試みです。学生を物心両面で支えようとした賀川豊彦の志を引き継ぎたい、という思いもあります。」

「賀川豊彦が目にしたのが、神戸の頼母子講でした。最も貧しい人を助けるために皆がお金を出し合う共同献金システムです。日本の「講」にヒントを得て作られたのが、ユヌス氏が提唱したグラミン銀行です。学校が建てられた川口地域は、こうした歴史の宝庫なのです。」

「労働学校が最も重視しているのが、人間関係です。1限目の基礎ゼミナールとして「人間関係論」を開講し、学生と教師は食事と共にします。学生寮もあって、寝食を共にしながら学ぶという、経験を通じた深い人間関係を重視しています。」

「ただし、閉鎖的になつてはいけないので、週末土・日には、市民講座を開講しています。来年度からは、労働運動、コミュニケーションなど、テーマごとの講義も開講します。2限目は、マルクスをはじめとした古典学習です。3限目は、現代を捉えるためのさまざまなトピックスを取り上げて講義をします。4限目は、協同組合論です。」

「開学して半年、抱える課題は？ 本山：基本的に全日制として出発したのですが、仕事との両立はとて困難です。アルバイトをしながらといっても難しいし、卒業資格を得られるわけでもないで、学生が集まりにくくなっています。」

「来期からは、聴講生などパート学生主体の運営に変更します。労働組合員だけでなく、市民運動や地域運動家にも集まってもらい、学生の興味や要望を組み込みながらカリキュラムを再編成します。本学で試験はありません。勉強が嫌になるからです。レポートをインターネットで公開して、皆の目に晒されることを通じて研究に励んでほしいと思っています。また、最近の日本の大学がひどい状態になつているので、疲れた

「先生たちは、ここで問題意識に溢れた学生と議論してリフレッシュし、ご自分の理論・体制を立て直していただければという願いもあります。地元で定着するために市民講座をやっていますが、限界もあるのです。市民運動と連携しインターネットを利用した授業も作っていくかと思つています。資金的には協力会員を募っています。「オルグの方法」も要望が強いテーマです。」

「社会主義革命の失敗を率直に認め、失敗を二度と繰り返さないが社会主義革命は必要だ、という苦しい局面を切り開かないといけません。大きく育つ可能性のある小さく光る宝物を、実験的でもいいのか作つて見せていかねばならないと思つています。それは、協同組合だと思つています。」

「地域の国際的な連合をつくり、そうしたさまざまな社会がネットワークを作つて国を包み込んでしまうようなイメージです。そうしたリーダーとなりうる人材がここから育つていただきたい、というのが願いです。」

2016年11月末刊行予定

それでもパレスチナに木を植える

高橋美香 著・写真

四六判並製・230p (カラー写真64点収録) ISBN978-4-624-41102-2 C0036 予約 (本体2000円+税)

絶望とわずかな希望のはざまに

前著『パレスチナ・そこにある日常』から6年、分離壁・入植地の増大、不当な逮捕・拘束はさらにエスカレートしている。

「自分にできることなどないのではないか」と挫けそうになりながらも彼の地の人びとに触れられ通いつけるカメラマンと、彼女を大きな愛で受け入れる「家族たち」との交流をとおして、「パレスチナ問題」の現実を描く。

2010年刊【重版決定!!】

パレスチナ・そこにある日常

高橋美香 著・写真

四六判並製・222p (カラー&モノクロ写真95点収録) ISBN978-4-624-41091-9 C0036 定価 (本体2000円+税)

戦禍や犠牲の一面だけじゃない、そこには笑顔も夢もある。私たちと同じ「生活」がある。ガザ、エルサレム、ナブルス、ラマッラー、そしてビリン……

パレスチナに生きる人びとのありのままの日常を伝えるルポルタージュ。

(株) 未来社 〒112-0002 東京都文京区小石川3-7-2 Tel 03-3814-5521 Fax 03-3814-5596

『それでもパレスチナに木を植える』刊行によせて

写真家 高橋美香

前著『パレスチナ・そこにある日常』では、分離壁との闘いを強いられるビリン村、ガザでのパレスチナを撮り続ける覚悟を教えられた体験、エルサレムや難民キャンプの人びとの姿などをとおして「日常」のなかにある不条理な抑圧や弾圧、人権侵害と彼らの抵抗を描きました。そして六年が経ち、ガザ地区が繰り返し大規模な空爆や軍事侵攻を受けるなかで、エルサレムや西岸地区での「見えにくい」日常的な占領と抑圧は、大手メディアではあまり語られることのないまま悪化の一途をたどっています。

本書では、ビリン村のその後のこと、エルサレムやイスラエルでパレスチナ人として生きること、ヨルダン渓谷、中盤以降の主要なテーマであるジェニン難民キャンプで、友を殺され、拷問を受けた父親が長い闘病生活の末に亡くなり、耕す土地も実のなる木々もなく、貧困のなかで絶望とわずかな希望のあいだを振り子のように揺さぶられながら生きることなどを、居候として共に生活をする「家族」とその周辺の人びとの姿をとおして書きました。彼らの姿をとおして、私たちと変わらない名前も顔もある「等身大のパレスチナ人」と彼らの尊厳をかけた闘いのことが読者の皆様に伝われば幸いです。

刊行元：未来社、価格：本体2,000円+税、発行日：2016年11月25日、四六判並製、230ページ、刊行元問い合わせ：03-3814-5521 (未来社)

ユダヤ人とパレスチナ人、明らかな差別を合法化

治安裁判とイスラエルの人権弁護士

イスラエル在住 ガリコ・美恵子

ナーデル・ナセル(23)が逮捕されて1年が経つ。2015年9月、東エルサレム・シルワン村のアムド地区で、入植者専用バスが炎上した。地元若者らが走行中のバスに投石し、モロトフ弾(火炎瓶)を投げたのだ。バスは回送車だったので、運転手は瞬時にバスを止めて飛び降り、怪我もなかった。

拷問による別件逮捕

警察は、「計画的テロだ」として、犯人逮捕のためにアムド村に侵入、若者5人を逮捕した。そのうちのひとりであるナーデルは、私の友人。マラームの弟だ。事件発生は午後7時頃だったが、ナーデルはその日、隣人をハダッサ病院に自家用車で送るため午後5時半に家を出て、現場にいかなかった。胃の手術が終わり、ナーデルが自宅に戻ったのは夜半だったという。



ナーデルの父は、パレスチナ人弁護士に依頼して裁判に挑んだが、第一審で懲役7年が言い渡された。父は、「息子は殺人を犯したわけではな



レア・ツエメル弁護士

誰かに怪我を負わせたのではない。俺の息子を返してくれ！」と怒ったが、弁護士は「自分では太刀打ちできない。イスラエル人の弁護士を探してくれ」と言いつて頭を垂れたという。

その日の公判で無罪判決は出なかった。私は理由がわからなかった。次回裁判の準備に取りかかるレアに「質問がある」と伝えると、名刺をくれた。「金曜日に事務所に来い」という。

レア・ツエメルは、ミシエル・ワルシャウスキーの顧問弁護士であり、妻である。ミシエル・ワルシャウスキーは、AIC(オータナティブ・インフォメーション・センター)創設者、マツペン(1960年代から1990年初期まで活躍したイスラエルの左派活動団体)元メンバーであり、『国境にて』(人新新聞編集員)脇濱義明氏翻訳(つげ書房)の著者だ。



ナーデル・ナセルさん

東エルサレムのシェイク・ジャラ地区にあるレアの事務所を訪ねた。彼女に弁護を頼みに来ているのはほとんどパレスチナ人で、行列ができていた。「私はナーデルの知人で、彼の裁判について詳しく知りたくて来ました。あな

に傍聴に出かけた。ガザ地区と西岸地区に住むパレスチナ人に対する裁判は、イスラエルの軍法で裁かれるため、西岸地区にあるイスラエル軍刑務所で行われる。一方、イスラエル国内に住むパレスチナ人(アラブ・イスラエリ人)と東エルサレムに住むパレスチナ人(市民権はないが、住民権をもつ)は、一般の刑法で裁かれるため、イスラエルの裁判所で行われる。

3年半の実刑

レアの事務所を出て、マラームを訪ねた。ナーデルは無実を疑っていない。私には、苦しい思いでレアのファイリングの話をすると、意外にもマラームは概要をすでに知っていた。短時間だが、定期的に刑務所から家族に電話をかけることが許されており、その電話で知ったのだという。



▲ナセルさんを連行するイ軍警察

ナーデルの仲間がシャバクに告白した内容は、「軍への投石やモロトフ投下にあたって、年長のナーデルが指揮をとった。『x月x日ナーデルの告白』『モロトフを作る材料をガソリンスタンドで買った』など、延々と続いていた。シャバクは、ナーデルたちを個別に尋問。繰り返される拷問に耐えられず、ナーデルも仲間も告白に追い込まれ、国境警察の車にモロトフを投げ、投石したという『過去の

マラームが逮捕後に生まれた子どもを見せようと四女を高く挙げ、「生まれたわよ！」と言うと、ナーデルは腰掛けながらニコニコして「可愛いね」と答えた。「こっちは日本人の友達よ、あなたのことを日本の新聞に書きたいんですって」。私がナーデルに手を振ると、笑顔を返してくれた。彼に会うのは初めてだったが、優しい笑顔の好青年という印象を受けた。警察官が会話を禁じたので、皆、押し黙った。

☆ガリコ美恵子さんの本が出版されます！☆

2017年1月中旬発売!!

反核の闘士ヴァヌヌと私のイスラエル体験記

反核運動家ヴァヌヌとの出会い、イスラエルでの波瀾に満ちた人生

25年前、夫の故郷イスラエルに移住した日本人女性の奮闘記。著者の体験をいっそう深化させたのは、ある反核の闘士との出会いだった！2016年8月15日、テレビ東京の「なぜそこに日本人？」出演。



ガリコ美恵子 著 定価：本体1800円＋税 (四六判・上製、240頁) ISBN 978-4-8460-1589-3

論創社 TEL. 03-3264-5254 FAX. 03-3264-5232 東京都千代田区神田神保町2-23

著者略歴:ガリコ美恵子(ガリコ・ミエコ) 1965年大阪生まれ。90年モロッコ系イスラエル人と結婚。91年娘ミリ出産後、夫の故郷エルサレムに移住。2カ月後、夫と別離し、レストランのウェイトレスなど様々な職に就く。イスラエル人平和活動に参加し、モデルハイ・ヴァヌヌと2006年に出会い交流を持つ。

石に対して3年以上20年以下の禁固刑を課し、さらに投石者の両親の健康保険や社会保険を奪うことも可能」という厳罰法だ。裁判では、母国語で法律を熟知し弁論できるイスラエル人弁護士が圧倒的に有利だ。弁護士がパレスチナ人の場合、差別的な態度をとる裁判官も多い。 11月6日、ナーデルに対する判決が出た。3年半の懲役である。民族差別のあるイスラエルで、レアは、最も軽い

編集部でも取り扱います。ぜひお買い求めを！

情報ひろば

関東

▼2016 レイバーフェスタ文化でとめよう！アベ暴走

◇12月17日(土) AM10:30～PM5:15/ドキュメンタリー映画『選挙が生まれる 長野と群馬の朝鮮』ドキュメンタリー映画『オキュパイ・シャンティ インドカレー店物語』、川柳・スライド上映、講談『人を喰う魚・豊洲移転騒動の巻』、音楽『脱原発テント・カスチュー』、他/田町交通ビル6Fホール(JR田町)/一般当日1700円、前売・予約1500円、失業者・障害者1000円、学生・20歳以下無料/主催=実行委員会/予約・問合せ=TEL.03-3530-8588(レイバーネット日本)メール予約http://labonetjp.jimdo.com

▼高江のヘリパッド建設強行を許さない！すべての北部訓練場の即時返還を！

◇12月20日(火) 18:30～/首相官邸前(最寄駅:東京メトロ・国会議事堂前)/記念式典の詳細確認後、昼間も抗議行動/呼びかけ=沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック、辺野古・高江を守ろう！NGOネットワーク、ゆんたく高江/連絡先=090-3910-4140

▼原子力規制委員会毎水曜昼休み抗議行動

◇12月21日(水)12:00～13:00/原子力規制委員会ビル前(港区六本木1丁目9番9号)東京メトロ南北線「六本木一丁目駅」から「泉ガーデンタワー」を経て徒歩4分/日比谷線「神谷町駅」徒歩8分/呼びかけ・問い合わせ=木村(kimura-m@ba2.so-net.ne.jp)

関西

▼子どもの貧困学習討論会

12月19日(月)18:30～21:00/生田武志(野宿者ネットワーク代表)、西川日奈子(西淀川子どもセンター代表)/こうべまちづくり会館ホール(神戸市中央区元町通4-2-14)/800円/主催=市民デモ兵庫/問い合わせ=090-3652-8652(高橋)

▼天皇誕生日祝賀反対・天皇制廃止を12・23大阪集会

◇12月23日(金)13:30～16:30 集会後デモ/中嶋啓明(ジャーナリスト)/国労大阪会館(JR大阪環状線「天満」下車徒歩3分)/1000円(経済的に厳しい方は受付まで)/主催=参戦と天皇制に反対する連続行動/問い合わせ=06-6303-0449

▼「君が代」強制を止めよう！学習交流の集い

◇12月23日(金)18:30～/黒田伊彦(元府立学校教員)、松田幹雄(市立中学校教員)/500円/エルおおさか南館72/主催=D-Tac/問い合わせ=090-1914-0518

▼ピースおおさかりニューアル裁判(大阪府・市)判決！報告集会

◇12月24日(土)13:30～16:15/大阪市立男女共同参画センター・クレオ西(JR環状線西九条)/学習会=林白耀、老田裕美、判決報告=竹本昇(原告)、大前治(弁護士)/500円/共催=ピースリニューアル裁判を支える会 ピースおおさかの危機を考える連絡会/問い合わせ=090-8860-9961



福島刑務所に収容されて2年半が過ぎようとしています。この頃、世界各国の政府首脳の発言がとてども気になります。中でも核兵器禁止条約に基づく核兵器保有禁止に對して、日本政府が反対に手を上げたことです。

□先だけの核廃絶

●福島刑務所在監・K

北朝鮮の度重なる長距離弾道弾の発射実験、中国の海洋進出と宇宙開発など、日本を取り巻く環境の変化は著しいものと認識しています。しかし、安倍総理が必ず口にする「日本は被爆国として核兵器の悲惨さを世界に発信し、平和のために貢献しなければならぬ」と公で申しても、米国の顔色をみた場当たりな発言ばかりで、安倍総理には「誠」がないのでしょうか。広島にオバマ大統領が訪問時に、慰霊碑と被爆者の方の前

で両首脳が話されたことは口先だけの儀式にすぎなかったのか、と思えてなりません。広島、長崎に原爆が投下され、一瞬にして数多くの方が命を落とされ、また被曝された方がどれだけ苦しみを生じてこられたかを考え、日本はアメリカの犬ではないので、いつも顔色ばかり窺いしつづばかりふっていないで、日本はアメリカの同盟国であっても核兵器の悲惨さをもっと政府は認識し、日本は日本の立ち位置から、理にかなう真の平和のために、もつと他国に左右されることのない強い信念をもって邁進すべきだと思います。

テロ等準備罪こと



公衆便所の落書きのための相談や高校生の万引きの相談までもが、「テロ対策」として共謀罪が作られねばならぬのか？という疑問もある。外務省のウェブサイトに

と、「米国同時多発テロの発生時点でわが国が未締結であったテロ防止関連条約は3本あり、そのうちの爆弾テロ防止条約を01年11月16日に、テロ資金供与防止条約を02年6月に締結。07年には、核テロリズム防止条約を締結した結果、わが国は、2015年8月現在、下記の13条約の締結を完了しました」とある。

「法律なくして犯罪なし、法律なくして刑罰なし」――刑法法定主義のスローガンだ。つまり、犯罪を罰するには厳格な基準が定められねばならないというのが、民主主義・自由主義を重んじる近代法の原則である。ところが、共謀罪は、犯罪を成立させる基準が極めて曖昧なので、「罪刑法定主義の否定に等しい」(永嶋弁護士)という批判も



「予備」を処罰するのはこのためだ。逮捕し、拘留所に監禁し、裁判を受けさせて場合によっては刑務所に送り込むという

「予備」を処罰するのはこのためだ。逮捕し、拘留所に監禁し、裁判を受けさせて場合によっては刑務所に送り込むという

以上、お詫びをして訂正いたします。(編集部)

市民的常識からする「テロ対策」のための共謀罪は、いかか悪いかは別として、既に成立しています。「爆発物取締罰則」には、爆発物に対する共謀罪がありますので、凶器準備集合罪では、プラカードを持って集まっても犯罪が成立します。ピストルにしても米軍と違って日本では、所持しているだけで犯罪成立です。このような現行法があるのにさらに共謀罪が必要か？という批判はあり得ます。

と、「米国同時多発テロの発生時点でわが国が未締結であったテロ防止関連条約は3本あり、そのうちの爆弾テロ防止条約を01年11月16日に、テロ資金供与防止条約を02年6月に締結。07年には、核テロリズム防止条約を締結した結果、わが国は、2015年8月現在、下記の13条約の締結を完了しました」とある。

「予備」を処罰するのはこのためだ。逮捕し、拘留所に監禁し、裁判を受けさせて場合によっては刑務所に送り込むという

「予備」を処罰するのはこのためだ。逮捕し、拘留所に監禁し、裁判を受けさせて場合によっては刑務所に送り込むという

「予備」を処罰するのはこのためだ。逮捕し、拘留所に監禁し、裁判を受けさせて場合によっては刑務所に送り込むという

「予備」を処罰するのはこのためだ。逮捕し、拘留所に監禁し、裁判を受けさせて場合によっては刑務所に送り込むという

「予備」を処罰するのはこのためだ。逮捕し、拘留所に監禁し、裁判を受けさせて場合によっては刑務所に送り込むという

「テロ対策」のために必要なのか？ 爆弾の相談をすれば現行法で逮捕できます。殺人・放火・強盗・誘拐などの犯罪については、予備罪が設けられており、予備罪の共同共謀正犯も認められているので、かなり広い範囲で取り締まりが強化されています。



約ではない」と永嶋弁護士は指摘する。「越境的組織的犯罪とは、薬物・銃器・さらには人身売買などであり、マフィア対策であってテロ対策とは何の関係もない」(同氏)という。

共謀罪は、「越境的」であることを犯罪成立条件にしておらず、「条約締結のため」という説明は、この点からも口実でしかない。

「予備」を処罰するのはこのためだ。逮捕し、拘留所に監禁し、裁判を受けさせて場合によっては刑務所に送り込むという

「予備」を処罰するのはこのためだ。逮捕し、拘留所に監禁し、裁判を受けさせて場合によっては刑務所に送り込むという

「予備」を処罰するのはこのためだ。逮捕し、拘留所に監禁し、裁判を受けさせて場合によっては刑務所に送り込むという